

## トピックス調査レポート

Vol. 2

## ふだん誰と何を話してる？

お父さん・お母さんと「学校や友だち」のこと。友だちとは「恋」のこと。

「お父さん」「お母さん」「友だち」「学校の先生」。それぞれどんなことを話し、相談ごとは誰にしているのか。また、ふだんの話し相手との会話の中で、特に心に残った言葉は何か。ふだん身近な人と交わしている「ことば」について子どもたちに聴きました。

ふだんよく話しているのは、「お母さん」84.7%と「友だち」81.3%。「お母さん」にはふだんから学校や友だちのことなど幅広い内容について話しており、また「勉強・進路」「人間関係」などほとんどの相談ごとについて「お母さん」が一番の相談相手でしたが、「恋」の相談では「友だち」がトップになりました。

博報堂教育財団こども研究所は、全国の小4～中3男女300人を対象に、子どもをとりまくさまざまなトピックスについて調査しています。「子ども」「ことば」「教育」などに関するトピックスについて、子どもたち自身がどう感じ、考えているのかを明らかにすることを目的としています。

### 1 ふだんの会話頻度は？

- よく話すのは「お母さん」84.7%、次いで「友だち」81.3%。
- 属性別にみると、「お父さん」と「学校の先生」において、「よく話す」は小学生より中学生、男子より女子の方が低い傾向がみられました。

### 2 ふだんの会話内容は？

- 「お母さん」「友だち」には学校やできごとなど幅広い内容を話していますが、「お父さん」「先生」には勉強や学校のできごとなど、話題が限られています。

### 3 相談ごとは誰にする？

- ほとんどの相談ごとで「お母さん」が相談相手として最も高くなりました。
- 「恋の話や好きな人のことについて」は「友だち」が40.3%と最も高くなりました。
- 「勉強や進路について」は「お母さん」がトップでしたが「学校の先生」も33.7%と比較的高くなりました。
- 「SNS上の友だち」については、どの相談ごととも1%弱でした。

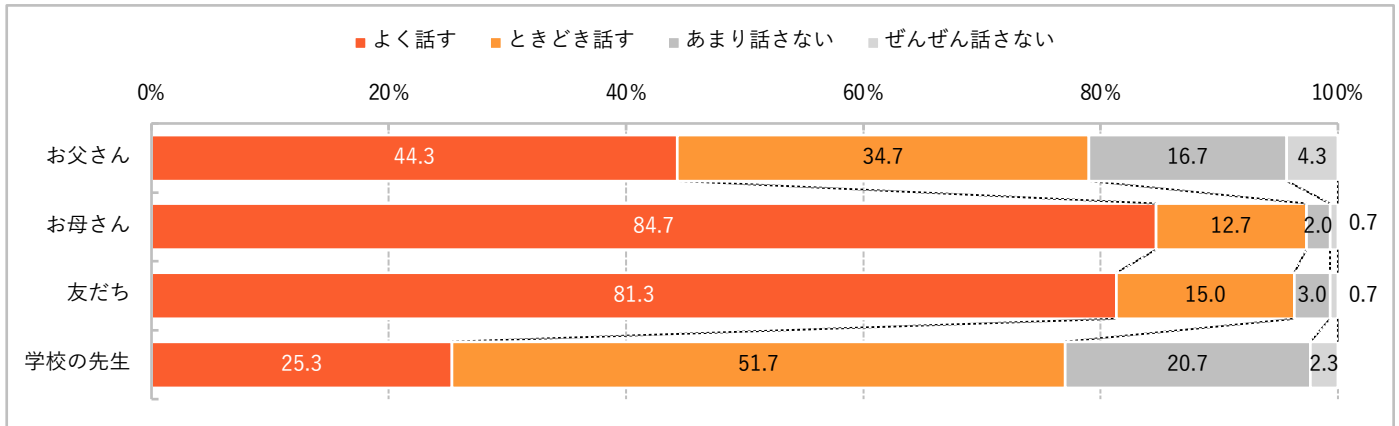
### 4 「心に残った言葉」は？

- 「お父さん」、「お母さん」から「生まれてきてくれてありがとう」や、「お前は大丈夫だよ」など存在を肯定する言葉、大切にしていることが伝わる言葉が多く見られました。
- 子どもたちのふだんの様子を知っている「学校の先生」からは、その姿をきちんと把握しているということがわかる言葉や、子どもが迷った際に方向性を示してくれた言葉が多く見られました。

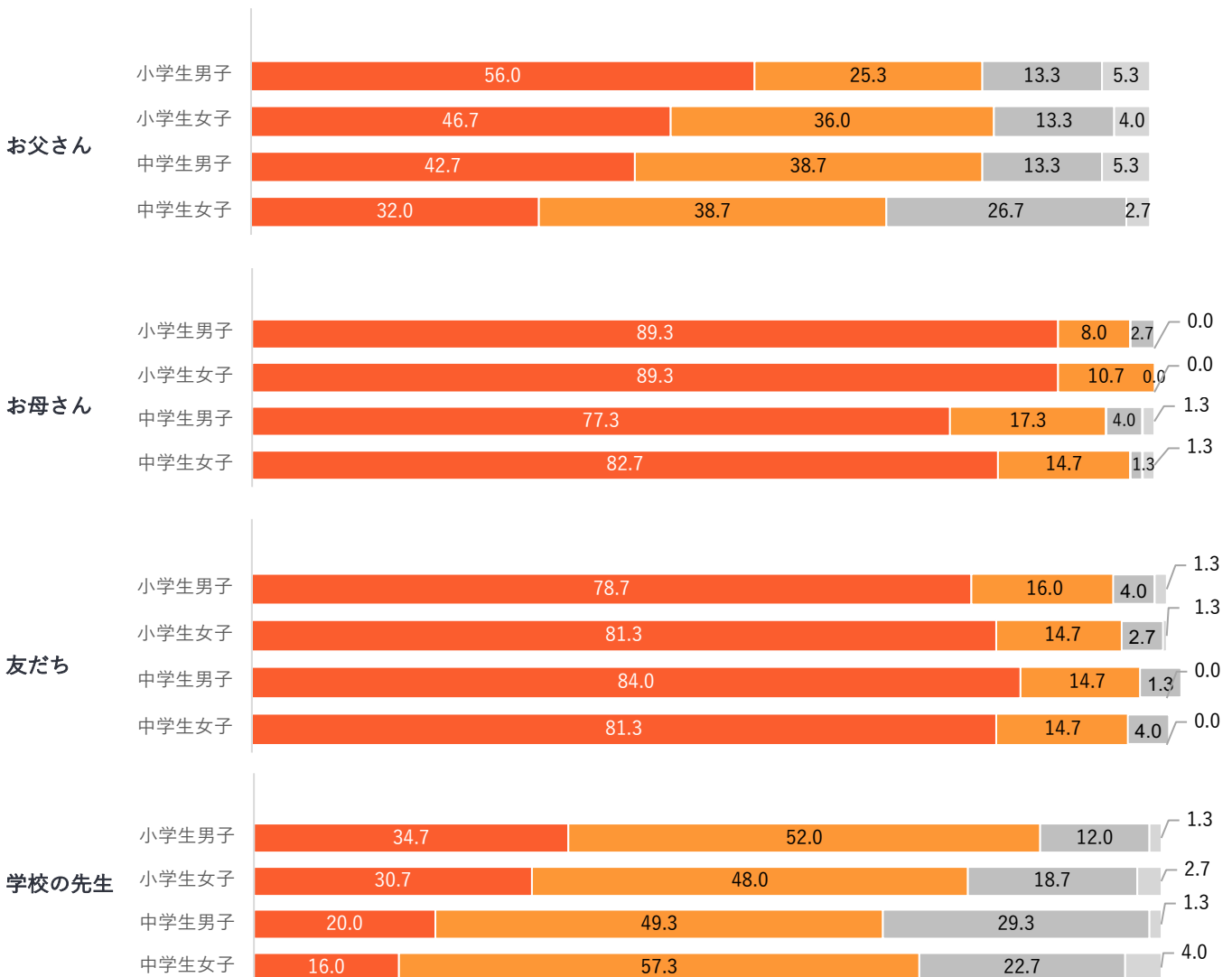
# 1 ふだんの会話頻度は？

## Q. あなたは次にあげる人たちとふだんどのくらい話をしますか。

よく話すのは「お母さん」84.7%、次いで「友だち」81.3%。「お父さん」と「学校の先生」においては属性別みると中学生女子が低い傾向です。



### ■ 属性別

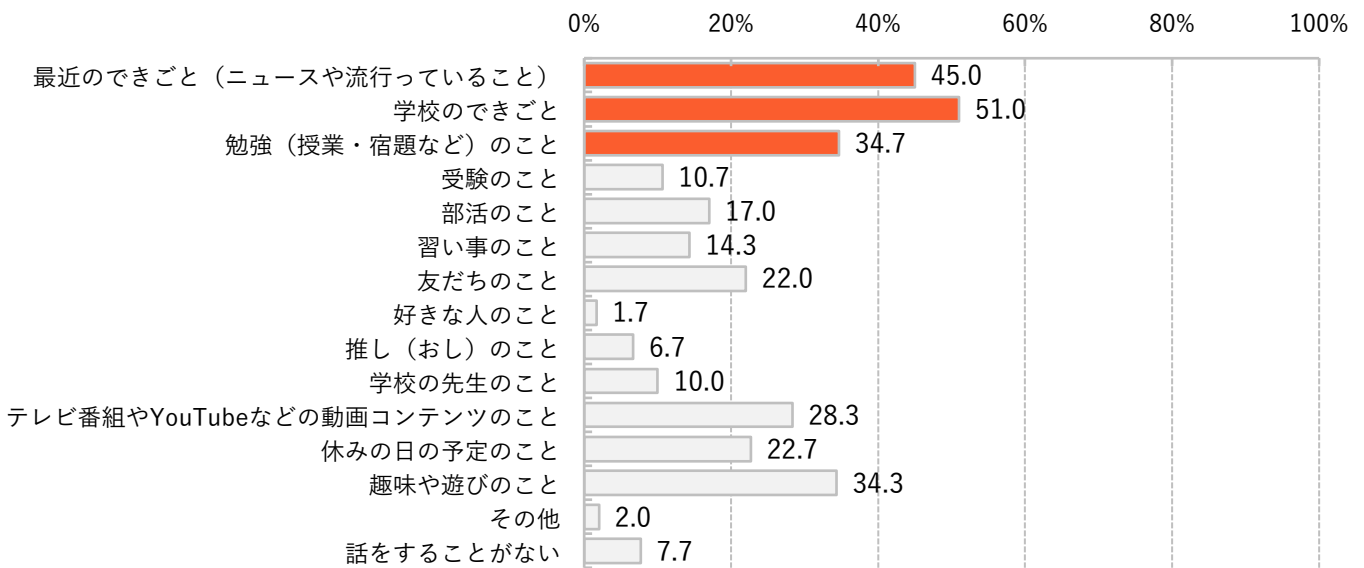


## 2 ふだんの会話内容は？

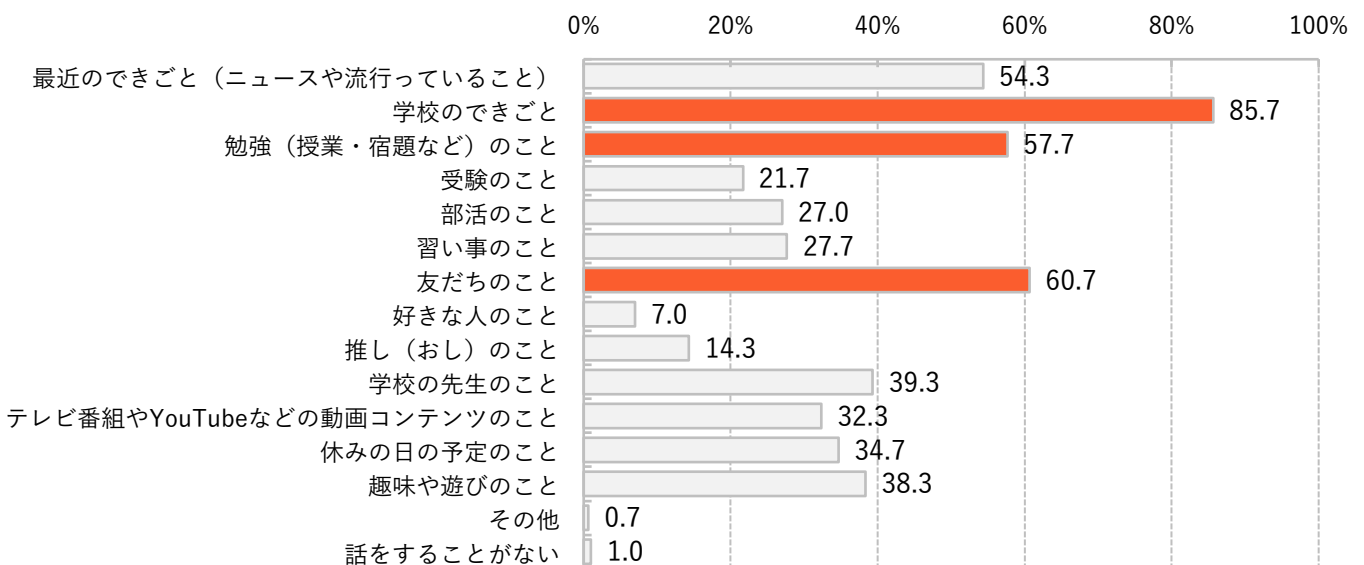
**Q.** あなたは、ふだん「お父さん」「お母さん」「友だち」「学校の先生」とどんなことについて話をよくしますか。あてはまるものをすべて教えてください。（複数回答）

「お母さん」のほうが「学校のできごと」「友だちのこと」をはじめとして、万遍なくよく話していることがわかりました。一方、お父さんとは「話をすることがない」が7.7%となりました。

### [お父さん]



### [お母さん]

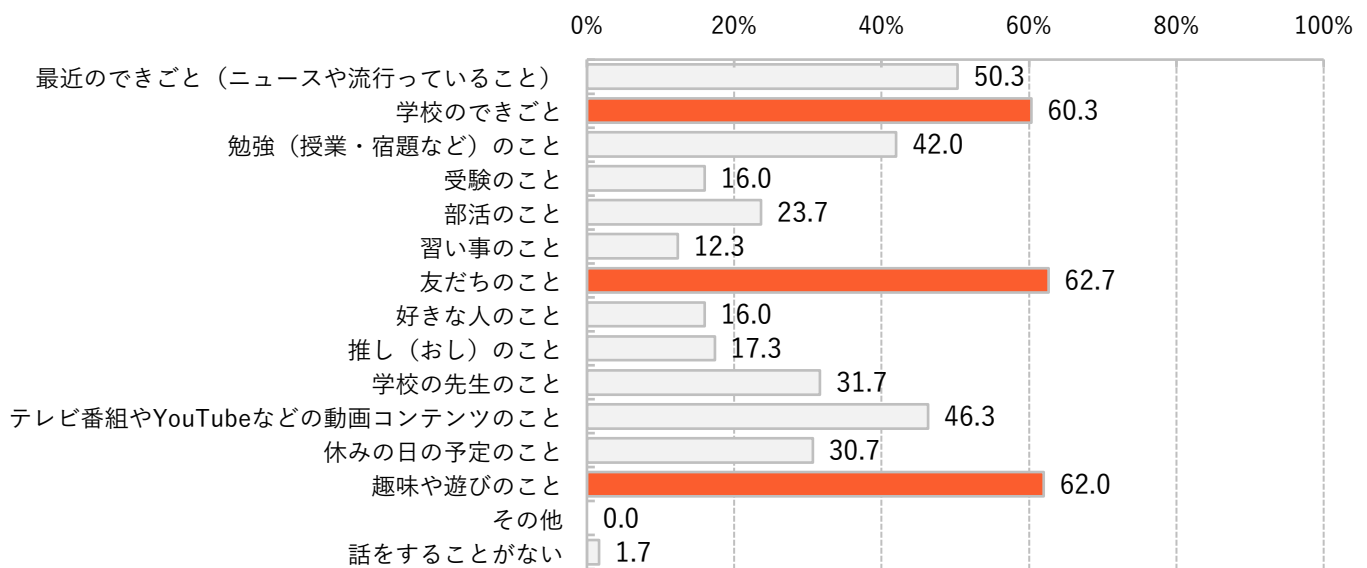


## 2 ふだんの会話内容は？

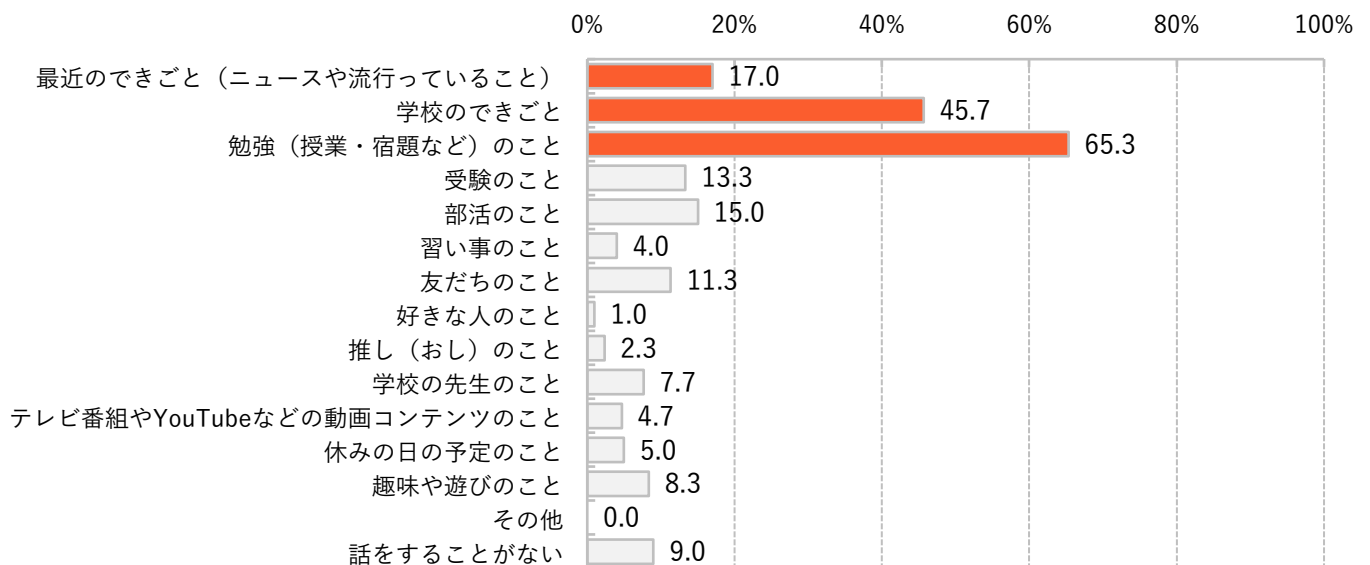
**Q.** あなたは、ふだん「お父さん」「お母さん」「友だち」「学校の先生」とどんなことについて話をよくしますか。  
あてはまるものをすべて教えてください。（複数回答）

「友だち」とは「推しのこと」17.3%、「好きな人のこと」16.0%と「お父さん」「お母さん」などと比べて会話内容に差がみられました。「学校の先生」には「勉強」「学校」のことがメインとなりました。

### [友だち]



### [学校の先生]

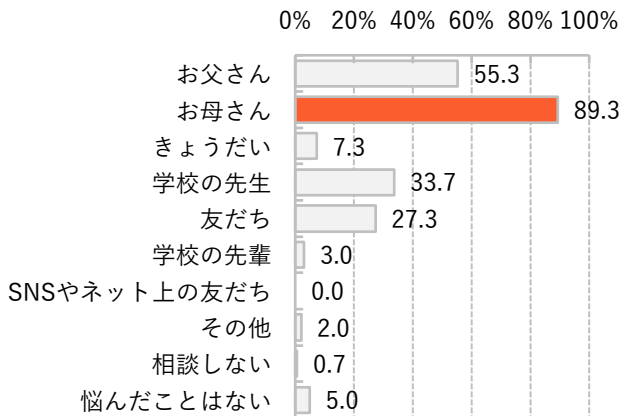


### 3 相談ごととは誰にする？

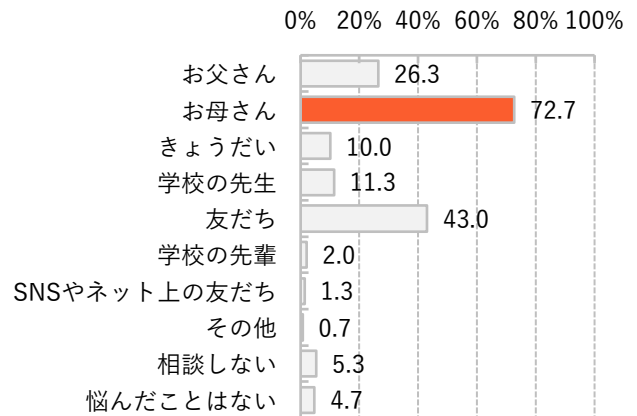
Q. あなたは次にあげることを誰に相談しますか。（複数回答）

「勉強や進路について」「お友達や人間関係について」などほとんどの相談ごとは「お母さん」が一番の相談相手でしたが、「恋の話・好きな人のことについて」の相談は「友だち」が最も高くなりました。

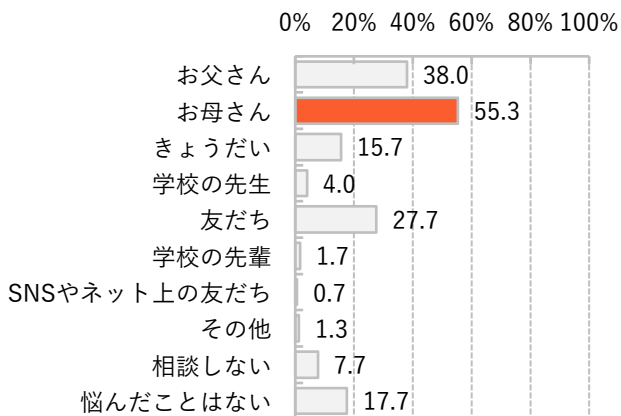
#### [勉強や進路について]



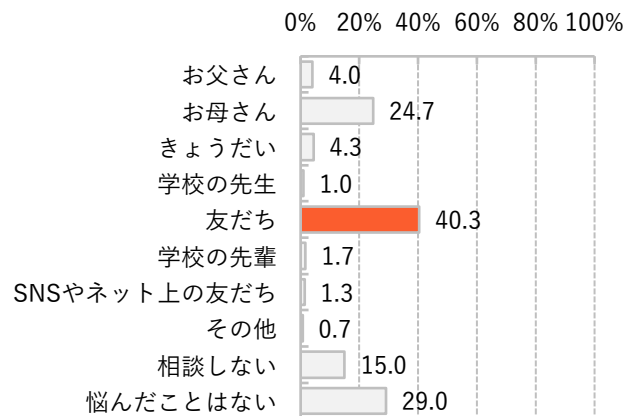
#### [お友達など人間関係について]



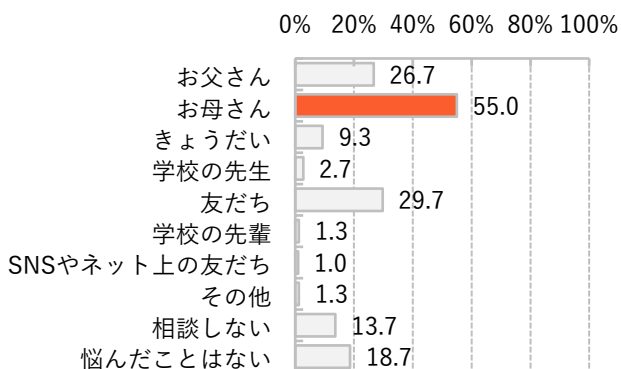
#### [家族のことについて]



#### [恋の話・好きな人のことについて]



#### [自分の性格や心のことについて]



Q. これまで「お父さん」「お母さん」「友だち」「学校の先生」から言われて心に残った言葉はありますか？その理由も教えてください。

(自由回答)

#### お父さんから

「頑張ったことは、あとで自分に帰ってくるよ。」	がんばろうと思ったから。	(小4女子・東京都)
「(サッカーで都退会出場を決めて)この舞台に連れてきてくれてありがとう」	嬉しかったから	(小6男子・東京都)
「生まれてきてくれてありがとう」	父は今64歳で、遅くできた子供だかららしい	(中1男子・栃木県)
「おまえは大丈夫だよ」	理由はわからないが大丈夫だと思えた。	(中2男子・東京都)

#### お母さんから

「大好きだよ」	怒られてばかりだったけど、好きって言ってくれたから	(小4女子・佐賀県)
「あなたは、もっと周りに自分の気持ちを伝えないといけないよ。」	思ったことをなかなか言えない。やり方がわからない。	(小6女子・鹿児島県)
「どんな時も味方だよと言ってくれた時」	友達とけんかして、孤立した時に言った	(中1男子・栃木県)
「あなたのお陰でお母さんはお母さんになれたんだよ。大好きだよ。」	大切にされていると思ったから。	(中2男子・神奈川県)

#### 友だちから

「お前はそのままがいい」	何があってもそのままの自分でいたい	(小6男子・秋田県)
「大丈夫 俺たちは優しい」	嬉しかった	(中1男子・長野県)
「教えてもらった本とても面白くて買った」	同じ趣味の友達が増えて嬉しい	(中2女子・愛知県)
「早く戻ってこいよ！みんな寂しがってる。待ってるからな」	入院している時にかけられた言葉です	(中3男子・大阪府)

#### 学校の先生から

「頑張っている姿を誰かが見ている」	心強くなれたから	(小4男子・東京都)
「思ったことを書いてごらん」	何をすればいいかわかったから	(小5女子・東京都)
「何があっても死ぬな」	命が一番大事	(中1女子・北海道)
「学校は社会の縮図です。」	なるほどなと思ったから。	(中2男子・熊本県)

## 編集後記

心に残る言葉とは何か。今回のテーマを通し、ふだんの会話頻度や関係性だけでは測りきれない、受け手側の子どもの背景があるということが見えてきました。それぞれの言葉に重みがあって、文字を読んでいるだけでも情景が浮かんでくるようです。最後に、ここでは心に残った言葉が「ない」と教えてくれた子どもたち（「お父さん」：191人なし、「お母さん」：180人なし、「友だち」：199人なし、「学校の先生」216人なし）のことに、ちょっと深掘してみます。心に残った言葉が「ない」理由にもその背景があるようです。「お父さん」「お母さん」とは生活のリズムが違って話す時間が「ない」。そもそもあまり話をするのが「ない」。「友だち」とは深い話をするのが「ない」。理由はないけれど、とにかく「ない」。話をする機会のなさ、会話内容の深度から心に残った言葉が「ない」と書いてくれた他に、また別の角度からの思いもありました。「その日その日で、心に残っていることがあるからひとつだけ言うことはできない」「いろいろあって決められない。」など絞り切れないワケがあることを教えてくれました。心に残る言葉があってもなくても、それぞれの意味は大きいのだと受け止めました。（T）

## 調査概要

調査エリア 全国

調査対象 小4～中3 男女 300人

	男性	女性	計
小学4年生	25	25	50
小学5年生	25	25	50
小学6年生	25	25	50
中学1年生	25	25	50
中学2年生	25	25	50
中学3年生	25	25	50
合計	150	150	300

調査日 原則毎月第2日曜日に調査実施

調査分析 公益財団法人博報堂教育財団 こども研究所

調査方法 インターネット調査

実施集計 株式会社H.M.マーケティングリサーチ

子どもの回答にあたっては、保護者の同意のもとで行っております。